

4 調査結果の概要

(1) 子どもの数等について

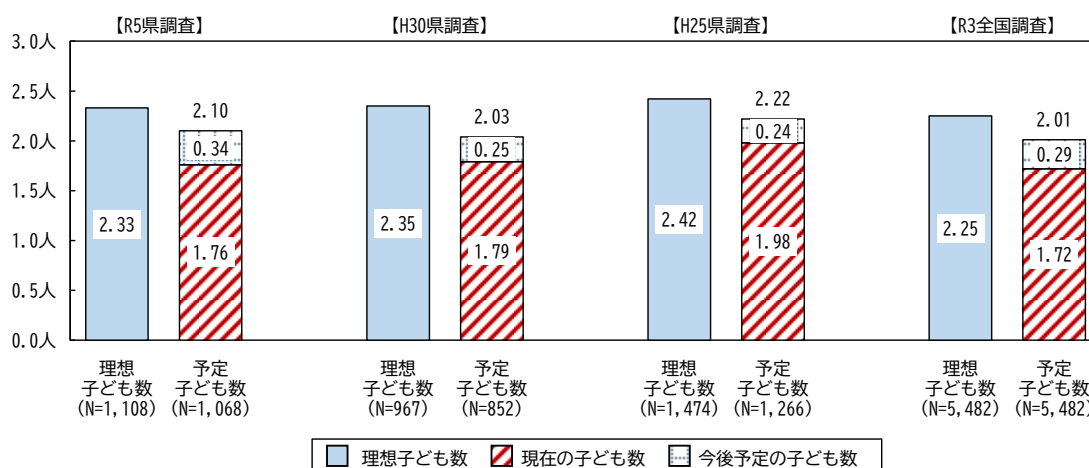
結果のポイント

- 理想の子どもの人数の平均は 2.33 人に対し、予定している子どもの数の平均は 2.10 人。理想と予定の差は前回調査から縮まっているものの、理想の子どもの数がゆるやかに減少。
- 理想の子どもの人数を持たない理由の一位は「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」で、その要因は塾や習い事を含めた教育費である。夫婦ともに正規職・自営業世帯でも「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が理由の上位となっており、共働きによる経済的優位がうかがえない。
- 理想より予定している子どもの人数が少ない夫婦は夫が結婚、出産、子育てと仕事の両立がしにくい職場である割合が高め。

① 理想の子どもの数と予定の子どもの数

理想の子どもの人数の平均は 2.33 人だが、予定している子どもの数の平均は 2.10 人で、その差は 0.23 人となっている。前回調査の差 (0.32 人) と比べると、やや差は縮まっているが、理想の子どもの数がゆるやかに減少している。

図表 理想・予定・現在の子どもの平均人数

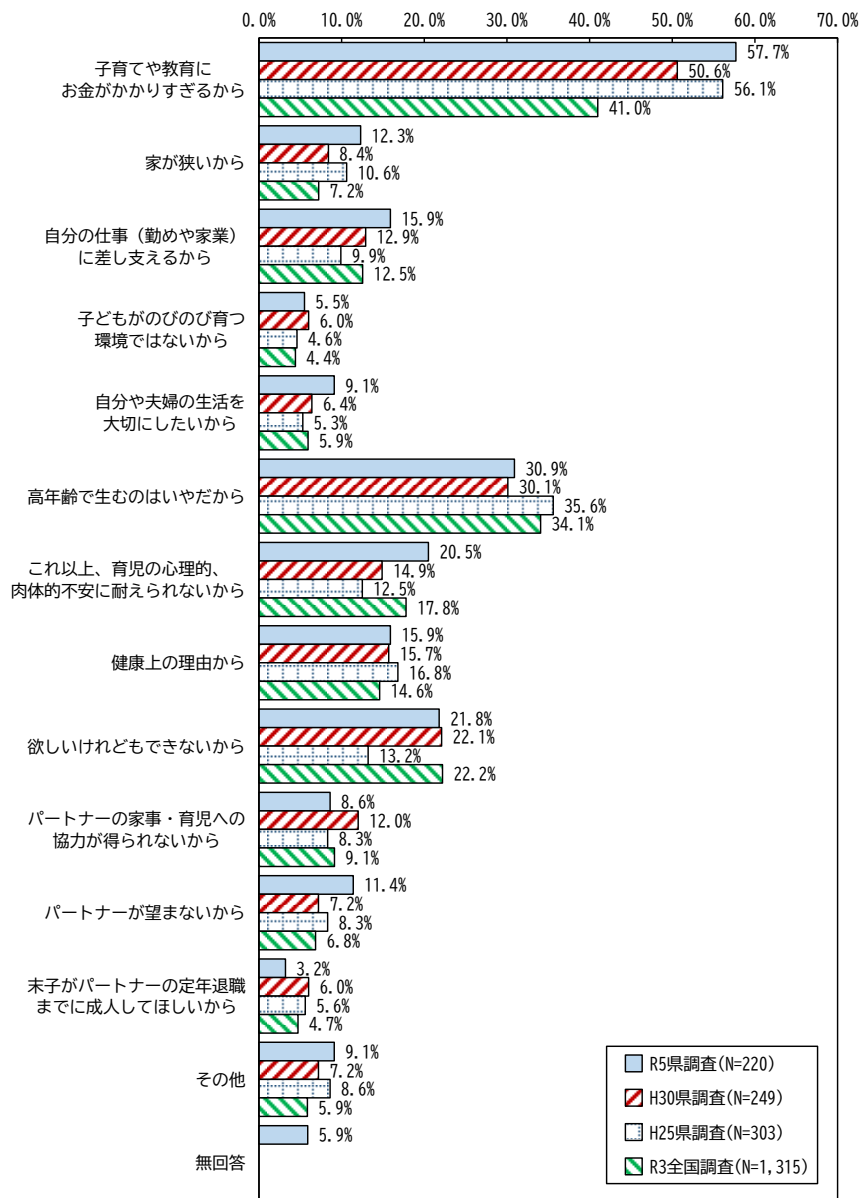


② 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由

予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由をみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が57.7%で最も多く、次いで、「高年齢で生むのはいやだから」が30.9%、「欲しいけれどもできないから」が21.8%となっている。

前回調査と同様に、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多く、前回から7.1ポイント上昇している。また、「これ以上、育児の心理的、肉体的不安に耐えられないから」「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」は、前々回から増加傾向がみられる。

図表 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由（複数回答）（初婚同士）



※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では「パートナー」ではなく「夫」であった

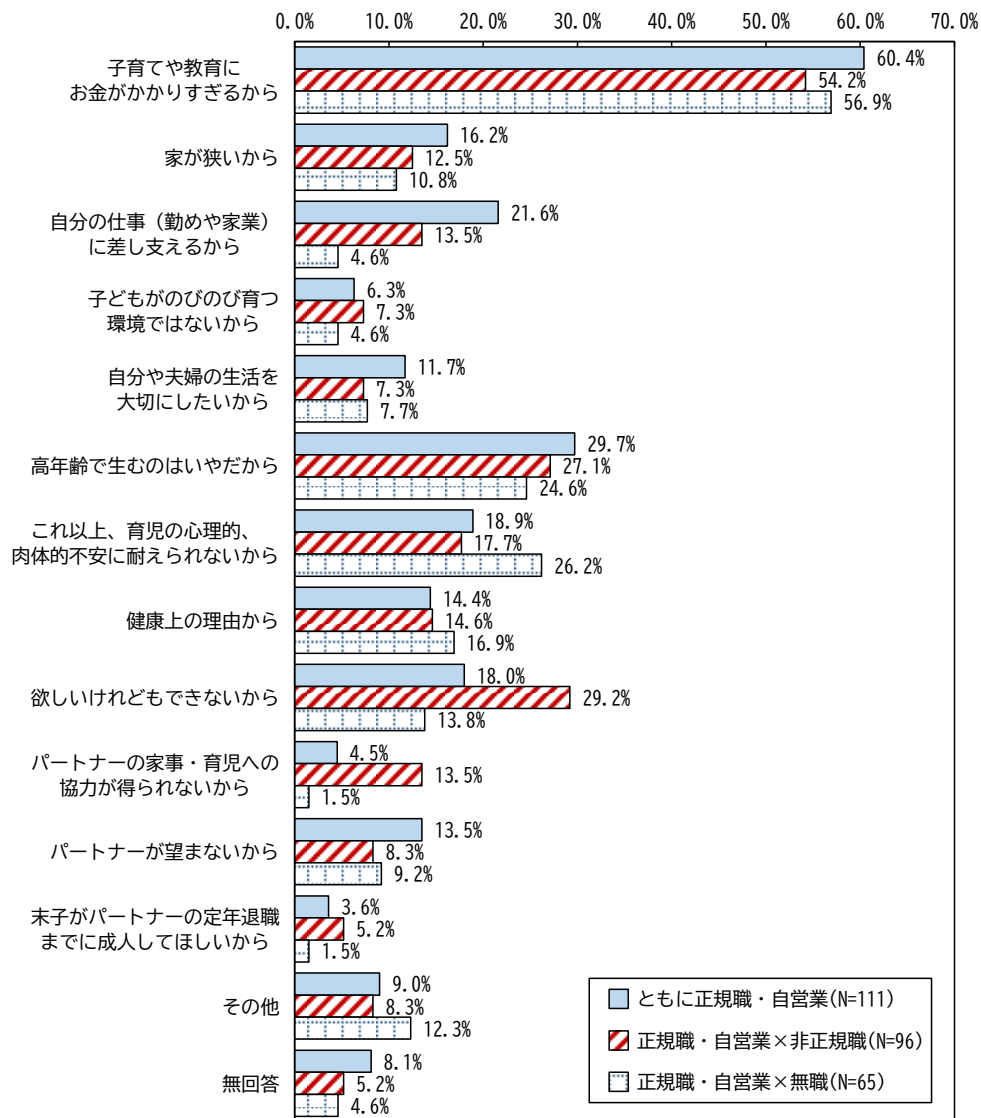
※H30 県調査、H25 県調査、R3 全国調査では無回答の掲載なし

②-1 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由（就業状況別）

夫婦の就業状況別に予定の子どもの人数が理想の子どもの人数より少ない理由をみると、就業状況を問わず「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多い。夫婦ともに正規職・自営業世帯では次いで、「高年齢で生むのはいやだから」が29.7%、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」が21.6%となっている。正規職・自営業×非正規職世帯では次いで「欲しいけれどもできないから」が29.2%、「高年齢で生むのはいやだから」が27.1%となっている。正規職・自営業×無職世帯では次いで「これ以上、育児の心理的、肉体的不安に耐えられないから」が26.2%、「高年齢で生むのはいやだから」が24.6%となっている。

他の層と比較して高くなっているのは、夫婦ともに正規職・自営業世帯では「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」、正規職・自営業×非正規職世帯では「パートナーの家事・育児への協力が得られないから」、正規職・自営業×無職世帯では「これ以上、育児の心理的、肉体的不安に耐えられないから」の割合である。

図表 実際に持つ子どもの人数が理想の人数より少ない理由（複数回答）

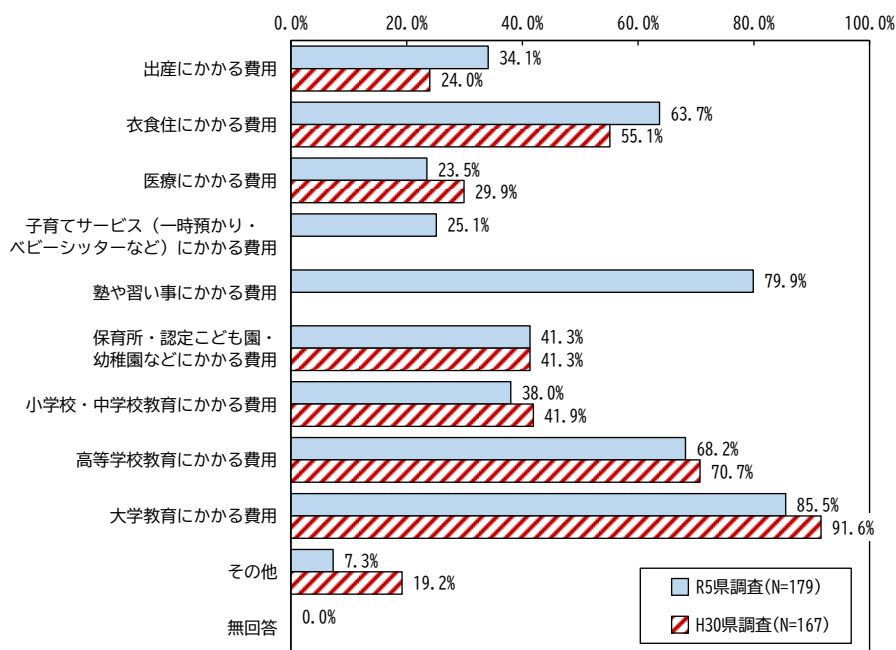


③ 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因

子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因をみると、「大学教育にかかる費用」が85.5%で最も多く、次いで、「塾や習い事にかかる費用」が79.9%、「高等学校教育にかかる費用」が68.2%となっている。

前回調査と比べると、「大学教育にかかる費用」が最も多い点は同様だが、ポイントは6.1ポイント低下しており、前はなかった「塾や習い事にかかる費用」が高い割合となっている。また、「出産にかかる費用」が10.1ポイント、「衣食住にかかる費用」が8.6ポイント上昇している。

図表 子育てや教育にお金がかかりすぎると考える要因



※「子育てサービス（一時預かり・ベビーシッターなど）にかかる費用」「塾や習い事にかかる費用」は今回調査からの新規項目

※ H30 県調査では無回答の掲載なし

④ あなたの職場は、男性が結婚・出産・子育てと仕事との両立ができるか

男性が結婚、出産、子育て（育休等）と仕事の両立ができる職場かどうかについては、「はい」が42.7%、「いいえ」が30.8%で、「はい」の方が多く。「どちらとも言えない」も21.1%みられた。

理想の子どもの人数と現実の子どもの人数とのギャップ別にみると、理想より人数が少ないほど、両立のしにくい職場であることがわかる。

図表 あなたの職場は、男性が結婚・出産・子育てと仕事との両立ができるか

